

第32回全国公民館セミナー（YouTube オンデマンド開催）

新型コロナウイルスの感染拡大によって、通常での開催ではなく、YouTube を通じたオンデマンドでの配信で実施とすることにしました。以下のプログラムを用意しています。

※当初予定されていたセミナー内容（①～⑦）に、下記の⑧～⑫をを加えてお送りします。

※⑨～⑫は、東京大学とのタイアップ企画です。

いつでも、誰でも、無料でご覧になれるようになっておりますので、ご活用ください。

《概要》

テーマ：新しい公民館のカタチーコロナに負けない公民館活動ー

主催：公益社団法人全国公民館連合会

後援：社会教育団体振興協議会 全国公民館振興市町村長連盟

公開：YouTube で3月25日から順次公開（予定）



動画はこちら

<https://www.kominkan.or.jp/02info01.html#semi32th>

《プログラム／①～⑫》

① 新しい公民館のカタチーコロナに負けない公民館活動ー（前編）

② 新しい公民館のカタチーコロナに負けない公民館活動ー（後編）

牧野 篤、上田 假奈代、南 信乃介

③ 文部科学省の公民館をめぐる動き

横井 理夫

④ YouTuber による講座づくりお役立ち情報

わさびちゃん、けん（ピーチキス）

⑤ 新しい時代の講座づくり（前編）

⑥ 新しい時代の講座づくり（後編）

宮城 潤

⑦ 社会をつなげる公民館へ

ーポスト・コロナとAIそして人生100年時代／わくわくを贈りあう地域をつくろうー

牧野 篤

⑧ 地元の公民館で元気プロジェクトはじめます

明治安田生命保険相互会社

⑨ 公民館を地域づくりの舞台にしていこう

前田 学浩

⑩ “ひとづくり” を社会教育施策から市の施策に ～地方創生の鍵はひとづくり～

大畑 伸幸

⑪ 学び革命 ～このまちに恋してこのまちと生きる～

河内ひとみ

⑫ アート × 社会教育 ～若狭公民館の挑戦～

宮城 潤

《プログラム詳細》

①② **シンポジウム・新しい公民館のカタチーコロナに負けない公民館活動ー(前編・後編)**

《コーディネーター》牧野 篤(東京大学教授)

《コメンテーター1》上田假奈代(特定非営利活動法人こえとことばとこころの部屋代表)

《コメンテーター2》南 信乃介(那覇市繁多川公民館館長)

公民館をとりまく現代的な課題について、大阪の釜ヶ崎で公民館的な活動をしている上田假奈代さん、そして日本で公民館運営をしつつ、エジプトでは公民館設置をすすめる南信乃介さんを迎えて、コロナ禍での公民館運営などのホットな話題も交えながら、熱く議論をいたします。

③ **講演・文部科学省の公民館をめぐる動き**

《講師》横井 理夫(文部科学省総合教育政策局地域学習推進課長)

公民館にかかわる、文部科学省の最近の動きをご説明します。

④ **講演・YouTuber による講座づくりお役立ち情報**

《講師》わさびちゃん、けん(ピーチキス)

公民館の講座づくりではどんなキーワードを使ったら良いのか、また備品や材料をそろえるときに使えるサイトなど、YouTube をつくる時に使っているサイトをご紹介します。

⑤⑥ **講演・新しい時代の講座づくり(前編・後編)**

《講師》宮城 潤(那覇市若狭公民館館長)

若狭公民館では、コロナ禍の状況にいち早く対応し、オンライン講座や YouTube による動画配信などもおこなっています。それらの中味や方法について伺います。さらに、これからの時代の講座づくりについて、システムティックに考える方法論などもご紹介いたします。

⑦ **講演・社会をつなげる公民館へ**

ーポスト・コロナと AI そして人生 100 年時代／わくわくを贈りあう地域をつくろうー

《講師》牧野 篤(東京大学教授)

公民館がこれからどうすべきなのか、現在の世界的な情勢や国の動き、またコロナ禍での公民館の現状やその他の公民館的な活動状況を踏まえながら、講義しています。

⑧ **講演・地元の公民館で元気プロジェクトはじめます**

《講師》増子 信、佐々木 聖広(明治安田生命保険相互会社)

明治安田生命は公民館との連携を進める民間企業等とコンソーシアムを立ち上げ、全国公民館連合会が協力しつつ、令和 3 年(2021 年)度から全国の公民館で「My 定期講座」という取り組みを進めます。これは公民館がおこなう講座、特に健康分野の講座開設・運営支援に、民間企業のノウハウや健康分野の知見を生かした講座を提供していくというものです。

⑨ **講演・公民館を地域づくりの舞台にしていこう**

《講師》前田 学浩(高知県南国市稲生公民館顧問)

高知県南国市の稲生公民館での活動を踏まえつつ、公民館運営の進め方や、これからの活動のあり方について検討します。

⑩ **講演・“ひとづくり”を社会教育施策から市の施策に～地方創生の鍵はひとづくり～**

《講師》大畑 伸幸(鳥根県益田市教育委員会社会教育課長)

※東京大学とのタイアップ企画

⑪ **講演・学び革命～このまちに恋してこのまちと生きる～**

《講師》河内 ひとみ(広島県大竹市玖波公民館職員)

※東京大学とのタイアップ企画

⑫ **講演・アート × 社会教育～若狭公民館の挑戦～**

《講師》宮城 潤(那覇市若狭公民館館長)

※東京大学とのタイアップ企画

《講師紹介》

牧野 篤（まきの あつし）／東京大学大学院教育学研究科教授

愛知県生まれ。博士（教育学）。専門領域は、社会教育学・生涯学習論で、日本のまちづくりや高齢化と過疎化問題に関心がある。最近では、自治体と一緒に公衆館や生涯学習の共同調査を行ったり、多世代交流型コミュニティの構築を進めたり、さらには企業と一緒に「ものづくりの社会化」プログラムなどを運営したりするなどの調査を進めている。著書に、『公衆館はどう語られてきたのか-小さな社会をたくさんつくる・1』『公衆館をどう実践してゆくのか-小さな社会をたくさんつくる・2』『人生100年時代の多世代共生-「学び」によるコミュニティの設計と実装』（いずれも東京大学出版会）など。現在、文部科学省中央教育審議会生涯学習分科会臨時委員。

南信乃介（みなみ しんのすけ）／那覇市繁多川公衆館長（沖縄県）

沖縄県那覇市出身。平成12年京都精華大学入学、環境社会学科で市民参加まちづくりの基礎を学ぶ。平成19年特定非営利活動法人なはまちづくりネットに加入し、平成21年度より公衆館リーダー。繁多川公衆館は、文部科学大臣優良公衆館表彰受賞、地域再生大賞優秀賞受賞、朝日教育のびのび賞、農林水産安全局長賞。平成26年3月より特定非営利活動法人1万人井戸端会議を設立。同年4月より那覇市繁多川公衆館の一部業務受託団体となり、平成27年4月より指定管理者。現在、繁多川公衆館館長。平成29年度から“アラブの春”後のエジプトとネット中継での合同講座や現地訪問し、日本の公衆館をつくる活動も展開中。その他、NPO法人1万人井戸端会議代表理事、NPO法人まちなか研究所わくわく理事、那覇市立識名小学校学校評議員、沖縄県立看護大学非常勤講師など。

上田假奈代（うえだ かなよ）／詩人、詩業家、NPO 法人こえとことばとこころの部屋代表

詩人、詩業家、NPO法人こえとことばとこころの部屋（ココルーム）代表。奈良県吉野生まれ。3歳より詩作、17歳から朗読をはじめ。92年から詩のワークショップを手がける。2001年「詩業家宣言」を行い、さまざまなワークショップメソッドを開発し、全国で活動。03年新世界フェスティバルゲートで、ココルームをたちあげ「表現と自律と仕事と社会」をテーマに社会と表現の関わりをさぐる。08年から西成区通称・釜ヶ崎で「インフォショップ・カフェ ココルーム」を開き、喫茶店のふりをし、09年向かいに「カマン！メディアセンター」開設。「ヨコハマトリエンナーレ2014」に釜ヶ崎芸術大学として参加。16年、地域の人たちと旅人とのあいをつむぎたいと考え、同商店街で30数ベッドの「ゲストハウスとカフェと庭 ココルーム」を開く。コロナ渦でも活動が停滞しないよう、さまざまな工夫と配慮をしながら活動継続に努めている。詩写真集「うた」（WALL）、「こころのたねとして～記憶と社会をつなぐアートプロジェクト」（ココルーム文庫）、「釜ヶ崎で表現の場をつくる喫茶店、ココルーム」（フィルムアート社）他。2014年度 文化庁芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。

宮城 潤（みやぎ じゅん）／那覇市若狭公衆館館長（沖縄県）

NPO法人地域サポートわかさ理事・事務局長。2006年社会教育指導員として那覇市若狭公衆館に勤め、その翌年に非常勤館長、その後、一部業務受託団体事業責任者、指定管理者の館長と4回の職名変更を経ながら若狭公衆館勤務15年目。その間、若狭公衆館は、全国公衆館ホームページコンクール、館報コンクール、インターネット活用コンクールにおいて、最優秀賞6回、優秀賞2回、優良賞1回受賞。第70回優良公衆館表彰（2017年度）では「最優秀館」に選ばれる。現在、文部科学省中央教育審議会生涯学習分科会臨時委員。

《講師紹介》

わさびちゃん／タレント、YouTuber

千葉県市川市生まれ。公民館利用サークル主催者の母（2015年没）に連れられ、2歳で公民館に利用者になる。大学でまちづくりとコンテンツ創作を学び、ゼロから何かを生み出す生き方に取り憑かれ、地下アイドルを経てお笑い芸人。お笑いコンビ「バーゲンセール」のネタ書き担当としてテレビ出演やイベント企画に携わる（2020年解散）。現在、新型コロナがきっかけで仲間と千葉県の古民家に移住し、全国の公民館をまわりながら、公民館のおもしろさを伝える活動を行う。趣味はバイクと車DIY。

けん（ピーチキス）／お笑い芸人、YouTuber

大阪府枚方市生まれ。吉本興業所属。15歳まで風呂無しの貧乏家庭でたくましく育つ。お金をかけた遊びができなかったため、遊び場はもっぱら公民館の図書室。おかげでものづくりが好きになる。大阪NSC卒業後、東京に拠点を移し、お笑いコンビ「ピーチキス」として活動。俳優としてドラマ、映画出演も。現在はわさびちゃんとともに古民家に住み、YouTubeチャンネル「TABIBANANA～古民家3人暮らし～」を企画運営する。

大畑伸幸（おおはた のぶゆき）／島根県益田市教育委員会社会教育課長

島根県益田市出身。益田市教育委員会社会育課。2017年より「ひとづくり推進監」として、益田市全体のひとづくり施策を担当。未来の担い手、仕事の担い手、地域づくりの担い手を一体的に育成し、特に、公民館を地域のひとづくりの拠点として、世代をつなぐことに重点的に取り組んでいる。中学生の公民館での地域活動が活性化してきた中、2020年4月、高校生や若者のサードプレイス、一般社団法人「豊かな暮らしラボラトリー」（ユタラボ）を設立。対話を通して世代をつなぎ、活動を通して、ロールモデルの想いを体感する様々なプログラムを保幼小中高で実施。特に、「益田版カタリバ」では、子どもから大人まで、毎年、年間人口の2.5%が体験し、ひとづくりの輪は拡大している。持続可能なひとづくりが、持続可能な地域づくりにつながると考え、社会教育がベースとなった市の施策へと進化中。大畑自身は、2002年から、親子の野外体験活動を創る「ネイチャーキッズ寺子屋」を主宰。ペットボトルピザ作り（特許取得）等の様々なアクティビティを各地で展開中。

河内ひとみ（こうちひとみ）／大竹市玖波公民館職員（広島県）

玖波公民館はかつて、事業がマンネリ化し、新規の来館者が少ない状態だった。そこで、公民館のイメージアップを図る「おしゃれな学び空間」として、「学びのカフェ」を創設。自由に語り合うカフェタイムを設けるなど、参加者の交流を図り、住民同士の絆を深めた。また講座内容にも工夫を凝らし、タイムリーで魅力的な講座を企画し、大幅な刷新を図った。その結果、若者や中学生など、今まで来館したことがない参加者が激増し、まちを元気にする「地域ジン」が誕生。毎月の講座の手伝い、オリジナルTシャツ、テーマソング、地元の飲食店マップ「見知らんガイド」など次々と作成。その後、空き古民家を利用した「古民家deカフェ」を開き、さらに、地域総出演のファッションショー「くぼコレ」の開催や、「KUBAシネマ」開催へと続き、地域を騒がせている。2014年度文部科学省優良公民館最優秀賞受賞。

【第32回全国公民館セミナー事務局】

公益社団法人全国公民館連合会 事務局次長 村上英己

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-16-8 飯島ビル3階

電話：03-3501-9666 FAX：03-3501-3481 メール：murakami@kominkan.or.jp